



年頭のごあいさつ

「地域・企業の持続的な発展のために」

加古川商工会議所

会頭 釜谷 和明

令和7年の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつを申し上げます。

旧年中は、商工会議所の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震、翌日の羽田空港地上衝突事故と年明けから暗いニュースで幕開けしましたが、記録的な猛暑日が続いた暑い夏を過ぎると、秋涼を楽しむ間もなく、衆議院解散総選挙や知事失職に伴う兵庫県知事選挙などで年末まで慌ただしく過ぎていった1年でした。

日本経済はコロナ禍からの本格的な回復期にあたり、日常生活の正常化とともに経済活動も活発化、景気も順調に経過しています。しかしながら、ウクライナや中東をはじめ世界情勢は非常に不安定な状況で、その影響が全世界に波及、エネルギー資源や穀物等の供給停滞から光熱費・食料品・原材料価格の高騰へと連鎖し、企業経営や市民生活に大打撃を与えています。

この厳しい状況下で、さらに急激な円安進行と物価高、賃上げ対応、カーボンニュートラルや人材不足への取組みなど様々な経営課題が山積しており、企業は近年まれに見る経営上の難局に直面しています。政府による緊急的な経営支援等が求められるほか、支援機関として商工会議所の果たすべき役割も益々重要となってきます。

当商工会議所としましても、加古川市や東播磨地域の持続的な発展と地域企業の事業継続のため、伴走型支援や継続的な相談体制のさらなる強化を図ります。関係機関とも連携を図り、公的支援策の活用や情報提供、中小企業の経営環境の整備・改善、経営革新、資金調達や人材確保などあらゆるご相談に応じ、会員の皆様に寄り添う「無くてはならない窓口」として、これまで以上にきめ細かい対応を行いたいと考えております。

当地域では、続々とインフラ整備工事が進められています。本年には東播磨道が全線開通の予定、国道2号加古川橋架替や神吉中津線新橋梁は工事中でまだ数年かかりますが、播磨臨海地域道路も都市計画決定に向け着々と手続きが進められており、国内有数の生産高を誇る播磨地域にふさわしい道路網が実現することが期待されています。また、本年開催の大阪・関西万博は、人やモノ、情報が関西に集まる絶好の機会であり、当地への好影響も期待されます。

かわまちづくり計画や加古川駅周辺再整備事業に取り組む加古川市や（一社）加古川観光協会と連携を図り、中心市街地に賑わいを取り戻すため、当商工ビルもさらに大勢の人々が集う交流拠点となって貢献できるよう、様々な試みを検討してまいります。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸、本年が皆様にとって「復活と再生の年」となりますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。